

パロマ通信

パロマ広報誌「パロマ通信」

2013年
12月1日発行
02号

平和のしるし、
ハトが社名の由来です。

パロマは、スペイン語で「白いハト」を意味します。平和の象徴としてのハトに、平和で豊かな暮らしの願いを込めて名付けられました。



パロマなニュース

新スローガンとして 「ガスの温もりを、かたちに。」を制定

ガスの温もりを、かたちに。

Paloma

パロマは、ガス器具メーカーとしてお客様の生活に幸せをお届けしたいという創業時からの変わらぬ思いと、その社会的な使命を重く認識し、これからもガスに関わる企業として、その方向性を明確にするために「ガスの温もりを、かたちに。」を新たなスローガンと致しました。パロマは今後もガス器具を通して、私どもの企業理念である「お客様の安全・安心で快適な生活の向上」に貢献していくことを目指して参ります。

内定式



10月1日、本社(名古屋市)にて内定式を開催しました。内定証書を受け取った大卒内定者44名は、内定式を迎えることができた喜びと来春にはパロマの社員となる覚悟も新たに、清々しい表情をしていました。式の後には、グループ研修等を行い、それぞれが入社までの心構えを改めて見なおしました。

ビルトインコンロ「crea」がグッドデザイン賞を受賞

このたびガスビルトインコンロ「crea」で「2013年度グッドデザイン賞」(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞いたしました。



「crea」はイタリア語で「創り出す」の意味で、「新たな料理を創り出したい」となる洗練されたコンロ」をコンセプトにデザインをいたしました。

【グッドデザイン賞 審査委員による評価コメント】
キッチンがオープン化し、露出が増したガスコンロを美しくデザインしようという姿勢が伺える。この製品のデザインにはプレートの柄や五徳のデザインに女性らしいエレガントさがある。奥の魚焼き器のグリル蓋デザインも美しさにこだわっている。

インターンシップ実施



8/26～9/6の2週間、大学生のインターンシップを実施いたしました。本年は岐阜大学大学院・名古屋工業大学よりご参加いただき、各部門での講習や実習を通じて、「パロマのモノづくり」を体験しました。販売部・技術部ではマーケティングの講習、製図や試験業務体験を通じてのモノづくりの出発点としての立場を理解しました。生産技術部では産業用ロボットの実習や、技術部と工場との懸け橋となる役割について理解を深めました。清洲工場では、品質と効率という観点を重視しながら、実際にレイティングやラインバランスの調整などに挑戦しました。

参加された学生の方は、「一つの商品に対して、多くの人が「より良いものをつくる」為にこだわりや、やりがいを持って取り組んでいることを学んだ。」「大学ではとにかく最先端の「技術」についてしか学んでこなかったが、会社では品質はもとより、安全性・コストなど、多方面からのアプローチが必要であることが理解できた。」と、充実した2週間を過ごしていただけたようです。

製品安全講習会の実施



7月18日、本社にて製品安全についての講習会を開催しました。

講師に明治大学名誉教授の向殿(むかいどの)政男先生をお招きし、「安全学と安全設計思想」と題してご講演をいただきました。講習会では、第一に「安全の定義とは、受入れ不可能なリスクが存在しないことであり、どんなに技術面や環境面でリスクを減らしても、使用条件や状況、誤使用などによってリスクの可能性は必ずある」とし、特に製品設計の段階において、予見できるあらゆるリスクの可能性を発見し、リスクを未然防止する安全設計が重要であることをご教示頂きました。その上で安全設計の考え方として、「構造安全(故障しても安全側になる、人間が間違えても大事には至らないこと)」と「確立安全(機能維持の信頼性を上げること)」の両者の融合が必須であることを、改めて学びました。



清洲工場 工場長
宇佐美 善数さん



お客様との交流を通じて より良いモノづくりを

地域社会への貢献活動の環として、清洲工場は地元の方々や小中高生、企業の方々を対象とした工場見学、学生のインターンシップなどの受け入れも行っていきます。

工場見学では、ビルトインコンロの製造工程を通して、パロマの安全・安心な製品づくり、暮らしに温もりや快適を提供する技術などを紹介しています。私は参加者の方々をご案内して各工程について説明を行って

ます。その際にモノづくりの楽しさや素晴らしさも伝わるように、より興味関心を持っていただけるように、わかりやすい説明や解説を心がけています。

工場では日々つくられているガス器具は、ご家庭での料理や入浴といった日常生活に欠かせないもの。ご家族の、便利で快適な暮らしを支えているものだからこそ、お客様と同じ目線でモノづくりを行うことが大切です。お客様がいらっしゃる工場見学

は、製品を使う人の要望や想いを知る良い機会でもあるのです。お客様に工場を見ていただくことで、社員一人ひとりの技術力も人間性も磨かれ、それがより良い製品づくりにつながります。だからこそ、工場は地域に開かれた存在であり続けること、私たちはお客様とともにモノづくりを行っているという意識を持つことが大切だと考えています。

もっと多くの人にパロマのモノづくりを知っていただきたいので、今後もより良い製品づくりを続けることに、魅力ある工場見学を実施していきたいですね。

Paloma

Paloma

発行/株式会社パロマ 人事・広報グループ 〒467-8585 名古屋瑞穂区桃園町6番23号 TEL.052-824-5167 <http://www.paloma.co.jp/>

News! 煮込み料理から蒸し料理、 お菓子作りまでできる パロマオリジナルの ダッチオープンセット



ダッチオープンセット
PGD-3[54777]
希望小売価格 15,000円(税別)

対応器種: PD-900Wシリーズ(crea)
付属品: 内網、ダッチオープン台、ミトン(両手)、レシピ集、取扱説明書
外形寸法: 全長250mm×幅195mm×高さ112mm(厚底4mm)
使用材料: 鋳鉄(焼付塗装仕上げ)



Point 1
清潔感あるステンレス
 お手入れがしやすいステンレスを採用。表面の塗装により、明るくクリーンな質感に。
写真はcrea




Point 2
グリル扉の取っ手にもこだわり
 かがまなくてもグリルがすっと引き出せるように、扉の上部に取っ手を設置しています。



Point 3
装飾を抑えたボタンまわり
 美しく扱いやすい操作ボタン。ボタンまわりの装飾を抑え、シンプルな意匠美を追求。



Point 4
空間と調和するレッド
 インテリアやキッチン家電との相性がよく、美しいアクセントになる魅力的なレッドを採用。



料理を創りたくなる「ビルトインコンロ」を指し、ムタな装飾を抑えたシンプルで高級感あるデザインを追求しました。

各パーツのデザインにもこだわり、操作ボタンは直径サイズとボタンの間隔をミリ単位で変えた模型をいくつか用意。その中から操作性・清掃性・美観



パロマ
なモノ
crea
[クレア]

新たなデザインへの挑戦
 販売部 デザインG
 村田マネージャー

Point 3
装飾を抑えたボタンまわり
 美しく扱いやすい操作ボタン。ボタンまわりの装飾を抑え、シンプルな意匠美を追求。



Point 4
空間と調和するレッド
 インテリアやキッチン家電との相性がよく、美しいアクセントになる魅力的なレッドを採用。



新しい驚きや感動を与えるデザイン

パロマの「顔」となる製品のデザインはどうか。新製品としてお客様や業界にも新たな魅力を提案できる革新的なデザインとは何か。そこを考えることから始まった「クレア」のデザインは、新しさへの挑戦ともいえます。

安全・安心、便利で清掃性に優れたデザインであると同時に市場のニーズにも応えなければなりません。最近ではライフスタイルの多様化により、キッチンとリビングとの境界線がなくなりつつあり、コンロが人の目に触れる機会も増えています。そこで「清潔感」と「空間調和」をポイントに、「新しい



夏休み特別工場見学会

8組16名の小学生と保護者が参加。
 朝日新聞社の取材も受けました。



パロマ
なコト

パロマの安全・安心なモノづくりを紹介

8月20日(火)に開催した「夏休み特別工場見学会」は、小学生と保護者8組16名に参加していただき、朝日新聞社の取材も受けました。

見学前には会社の歴史をはじめ、ファーストフードチェーン店でもパロマのガス器具が使われていること、「ゼロからのモノづくり」で部品も自社で製造していることなど、パロマについて簡単な紹介を行いました。

見学コースは、ビルトインコンロの製造工程です。画像システムなどの最新設備を用いた厳しい品質チェック体制

子どもたちからは「ガス器具は約千個も部品を使っていると聞いてびっくりした」「たくさんの工程があることがわかった」「クリーンルームに入ったリ、ロボットを見たり、楽しかった」などの声がかれました。

清洲工場では地域の学校、企業や団体、お取引先様などを対象とした工場見学会を随時開催しています。こうした工場見学会を通して安全・安心な製品づくりや、モノづくりの楽しさを伝えるとともに、地域の方々との交流も育んでいます。

や、部品加工の工程では熟練の職人技を見ていただき、クリーンルーム内では安全装置などの精密機械の製造を紹介しました。

緊張した面持ちだった子どもたちも徐々に雰囲気慣れ、工場長の説明に聞き入り、熱心にメモを取ったりしていました。特に樹脂加工の人の型のロボットの前では、思わず身を乗り出してロボットの作業に見入るなど、楽しんでくれたようです。

子どもたちからは「ガス器具は約千個も部品を使っていると聞いてびっくりした」「たくさんの工程があることがわかった」「クリーンルームに入ったリ、ロボットを見たり、楽しかった」などの声がかれました。

清洲工場では地域の学校、企業や団体、お取引先様などを対象とした工場見学会を随時開催しています。こうした工場見学会を通して安全・安心な製品づくりや、モノづくりの楽しさを伝えるとともに、地域の方々との交流も育んでいます。

crea